



支えるネットワークについて説明され、認知症サポーターは年々増えているが、認知症高齢者の数はそれ以上に増加している現状にあり、その予備軍を入ると、認知症サポーターの数を超えてしまうことの説明のあと、受講者全員にオレンジリングを配布し、「今日からみなさんも認知症サポーターです」と締めくくられました。



【挨拶】医歯薬学総合研究科 教授 井口茂

井口教授は、認知症の人は身近に多くいるが、認知症について知識があるかないかで対応の仕方に大きな差が出てくる。この養成講座を受講し、自然とささえ合える社会を作っていければ安心して生活できる街になると述べ、認知症サポーターを周囲の人たちにも広げてほしいと締めくくられました。



第4回ケアラーサポーター育成研修には、多くのみなさまにご参加いただきました。センタースタッフ一同、心よりお礼申し上げます。アンケートでは「とても具体的で、またお話のポイントもコンパクトにまとめられており、大変わかりやすく理解しやすい内容でした。先生の気さくなお人柄も私たちを引きつけられました。」「事例を使って話し合う時間があったので他の人の意見を知ることができて良かったです。認知症の方と実際に接したことがなかったので認知症の特徴も詳しくわかってとても勉強になりました」「認知症というものが今までより近い存在になった。もし家族が認知症になったり、近所でこまっている人がいたら力になりたいと思った」など、気づきや学びについてのコメントが多くありました。アンケートへご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

長崎大学ダイバーシティ推進センターは、来年度も引き続きケアラーサポーター育成研修の開催を予定しています。今後ますます介護の課題を抱える人が増加することが確実視されているなか、介護者が孤立することなく介護者も要介護者も共に社会参加ができる環境作りができるよう、地域のみなさまとともに取り組んでまいります。